

令和7年11月13日

保護者様

富士見町教育委員会
子ども課 課長 金井 真由美

非常食 アルファーマの配付について

保護者の皆様には、日頃より富士見町の教育にご理解、ご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、富士見町教育委員会では、町内4小中学校にて、地震・土砂災害等に係る防災教育を進めています。

先日、総務課防災・危機管理係から、賞味期限が短くなった非常食を、学校の防災教育に役立てていただきたいという依頼を受けましたので、ご家庭で試食していただき、そこから非常食及び日頃からの備えについての考えを新たにさせていただこうと下記のように計画を立てました。お手数をおかけしますが、ご家庭で試食していただき、児童生徒が感想や気づきをタブレットで入力するのを見守っていただきたいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。

記

- 1 配付非常食 ドライカレー、山菜おこわ、五目ごはん のいずれか1つ
- 2 配付学年 小学校3年生から中学校3年生まで
※タブレットで感想等を記入する総合的な学習の時間として位置づけておりますので、小学校1・2年生の配付は見合わせました。
- 3 感想記入 裏面の総務課防災・危機管理係からのチラシにありますQRコードから記入します。
- 4 期 限 令和7年11月17日（月）までに感想が入力されるようお願い致します。
- 5 その他
 - ・賞味期限が近い食材もありますので、ご確認をお願い致します。
 - ・アレルギーの心配のある方は、原材料名を必ずご確認ください。無理して試食しないようお願い致します。
 - ・在庫の個数の関係から、本人が希望する非常食を配付することはできませんでした。ご了承ください。
 - ・総務課防災・危機管理係が管理していた非常食をいただいておりますので、保護者の皆様からの費用の支払いはありません。

富士見町教育委員会子ども課総務学校教育係
小林 ひとみ（地域支援担当） Tel 62-9235
南諏校長会 防災担当校長
林 尚之（境小学校） Tel 64-2014



日頃の備え、できていますか？

「避難所に行けば、食料や生活用品が手に入る」
これは半分正解で、半分間違いです

災害が起きてから、皆さんに支援が届くまで

3日 かかるといわれています

自分で備える **自助** がとても大切です

いざという時に困らないように、**今、行動**を始めましょう



非常食 アルファ米 ってどんなもの？

炊いたお米を乾燥させて作られたもので、お湯や水を入れるだけで、炊き立てのようなご飯を食べることができます。

商品によりますが、一般的に **5年保存** ができます

長期保存ができるため、災害用の非常食として保管できます。
乾燥したものであるため軽量で場所も取りません。

町で備蓄していたアルファ米をお配りしました。
お子さん、保護者と一緒に作って食べてみましょう。
そして非常食や生活用品の備蓄について考え、行動してみましょう。

災害の時に必要なものは、人それぞれです

自分の家族はどんな人がいますか？自分の家に合った備蓄は準備できていますか？
避難所でもらえる物は限られています。自分で備えましょう。

赤ちゃん・子どもがいる家庭

- ☐ ミルク ☐ 離乳食 ☐ おむつ ☐ お尻ふき
- ☐ 哺乳瓶 ☐ 子ども用の食べ物 ☐ 子ども用靴

高齢者がいる家庭

- ☐ 大人用紙パンツ ☐ 介護食 ☐ 補聴器
- ☐ 入れ歯・洗浄剤 ☐ 持病の薬

女性の備え

- ☐ 生理用品 ☐ サニタリーショーツ
- ☐ 防犯ブザー・ホイッスル ☐ 中身の见えないごみ袋



ローリングストックをしましょう！

備蓄→食べる→買う
を繰り返すことで、賞味期限切れなどを防ぎましょう



トイレの重要性

断水などで、普段使っているトイレが使えなくなることがあります

携帯トイレ・簡易トイレを備えておきましょう



感想・気づきを書きましょう

アルファ米を食べてみて、日頃からの備えについて気づいたことなどを入力しましょう



<https://logoform.jp/form/gyhs/1292375>

右のQRコード または 上のURLから
感想・気づきを送信してください

提出：児童・生徒→総務課